

道徳だより



穴水町立向洋小学校

第5号

H30. 7. 6

6年生はこんな授業をしました

主題名「友達と理解し合う」

友情, 信頼

「ばかじゃん！」

6年生は、資料「ばかじゃん！」をもとに、本当に信頼し合える友達になるために大切なことについて考えました。



☆あらすじ

主人公恵理菜は転入した先の学校で、仲よくなった友達きのちゃんから、「ばかじゃん！」と言われたことがきっかけで、「自分だけが嫌われているのではないか」と考えるようになってしまいます。ある日、以前にいた学校で仲たがいをしてしまったかおりに出会い、思い切って声をかけたところ、実は互いの誤解が原因だったことがわかります。そして次の日、恵理菜はきのちゃんに話しかけ、今回も誤解だったことがわかります。

主人公の恵理菜の気持ちに寄り添いながら、友情を深めていくためにはどんなことが必要かを考えました。前の学校で勘違いから、お互いを無視するようになった友達に、思い切って話しかけてみたときの恵理菜の気持ちを考えた後で、「あなたが恵理菜なら、（「ばかじゃん！」と言う）きのちゃんにどんなことを話しますか。」について考えました。3人グループの中に先生方が一人ずつ入って、自分ならどんなことを話すか、その理由を話し合いました。

「自分なら、どうしてそんなこと言うの？って訊くよ。理由が分からないとスッキリしないから。」「自分ならやめって言うよ。『ばかじゃん！』と言われるのは嫌だから。」などの意見が出てきました。また、グループに入った先生方が「〇〇さんの意見についてどう思う？」「例えばどういうこと？」など訊くことで話し合いを広げることができました。

～子どもたちのふり返りより～

・私は自分の言いたいことをすぐに言わないので、これからすぐに言ってスッキリしたいです。友達とは助けてくれると思っていただけ、今日はいろいろなことを教えてくれる人だと思いました。

・授業をしてみて、これから何かもやもやしたことがあったら、自分の言いたいことを言ってみようと思いました。友達のお互いのことを知れたから、仲が深まったという意見が良かったと思いました。私にとって友達は、何でも言い合える人だと今日の授業で思いました。

